

令和3年8月20日

8月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産は順調で例年より多い入荷である。製材業者の手持ち在庫が多く、材の引取が鈍い。4月中旬以降元落ちはなく7月も完売である。スギ小径木は引き合いがあり順調だが、ヒノキ小径木は入札も少なく弱気配。スギ、ヒノキとも柱材は強含み。スギ中目材は保合だが、ヒノキ中目材は大きく値を下げ弱含み。

群馬では原木入荷は季節的要因で少なくなっている。スギ、ヒノキとも4m材の集荷が困難である。製材工場はフル操業。受注残があり忙しく、残業で対応しているが、焼け石に水の状況である。スギの間柱、仮筋交い等を中心にパンク状態が続いている。4m材の原木が少ないためか、4m材の注文が増え始めている。製品在庫は少ないものの、やや緩和してきた。柱、間柱は高値で張り付いており、つられて他のスギ、ヒノキ製品も高値安定で推移。

2. 米材

6月下旬に北米北西部を襲った熱波を契機に夏場の乾燥気候に突入した。晴天続きのため、特にカナダで山火事警戒レベルが上昇し、伐採制限や停止になる箇所が出始めた。現状の晴天が続き、今後伐採制限に移行すると、9月以降の出材に深刻な影響を及ぼす懸念がある。米加とも港頭在庫は低水準が続いているが、伐採制限による出材減少で港頭在庫が一気に払底する可能性がある。米マツ IS 級並の8月対日輸出価格(推定)は前月比\$30 アップの\$1,110になった模様。一方、米国の製材品価格は7月最終週までに10週続落、価格の居所自体が高過ぎたため、底値感が見えづらい。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(7/30)は\$479/Mとなり、7月頭に比べ37.7%の下落。現地ホームセンターの在庫過多により大幅な価格下落となった。

6月原木入荷は235千 m^3 と4ヵ月連続の200千 m^3 台になり、1~6月累計で1,264千 m^3 (前年同期比30.8%増)、カナダからの入荷は前年同期比276.8%増。出荷は201千 m^3 、1~6月累計は1,213千 m^3 (同28.1%増)。在庫は増加し195千 m^3 、在庫率は0.96ヵ月と1ヵ月を切った状態が続いている。東京木材埠頭の7月入荷は20千 m^3 (前月比4.0%減)、出荷は17千 m^3 (同11.6%減)、在庫は30千 m^3 (同12.4%増)。国内米材製材最大手は、産地FAS価格の上昇と海上運賃の急騰もあり、3月から5ヵ月連続の値上げを表明した。

3. 南洋材

サラワク州では7月の天候は良好。インドからの引き合いが増え5船(約15万 m^3)の船積みがあった。FOB 価格は前月比\$10~20/ m^3 の上昇。7月はクォーター更新月で、公式発表はないが、前年同様の数量が各シッパーに通達された模様。輸出枠も40%と変わらず。PNGでは雨が降ったり止んだりの天候が続いた。FOB 価格は高値張り付きの状態。中国の需要は旺盛ではないが、高値玉の取引が行われている。マレーシア、インドネシアからのコンテナ不足は依然解消されず運賃は上昇中。8月予想の原木入荷は0、出荷は2千 m^3 、在庫1千 m^3 。製材品入荷は32千 m^3 。船の航海日数が延びており、入港予定日から1~2週間ずれ込む場合が多い。

4. 北洋材

産地の主力工場ではアカマツ原木不足で対日新規オファーは引き続き少ない。中国の買付勢いが止まり、産地シッパーはやや慌て気味。アカマツ原板の本格交渉が始まるが、\$700は確実に超えるだろう。アカマツ製品は原木不足を理由に新規オファーは更に値上げ。一部の強気シッパーでは\$1,000/ m^3 超えも見られが、商社売値110,000円/ m^3 辺りで天井感が出ている。川上側の流通玉が多少増えて、値段を出せば必要量は買えるムードが出ている。国内製材工場ではユーザーの要望数量に応えきれない工場もあるが、遅れていた原板契約残も入荷しており、原板在庫は改善している。産地とのプレ交渉が開始されるが、更なる高値を押し付けられる懸念がある。受注は一般、DIYルートとも引き続き順調だが、最盛期の勢いはない。8月予想の原木入荷は1千 m^3 、製品入荷(東京+川崎)17千 m^3 、出荷15千 m^3 、在庫22千 m^3 。

5. 合板

合板用原木の国産材は引き合いが活発で不足感から価格は強含み。ロシア材は出材限定的で米加材も見ながらの価格提示で強含み。米材は熱波による伐採制限で出材が減少しており、価格は強気姿勢。

6月の国内合板生産量は28.0万 m^3 、うち針葉樹合板は27.2万 m^3 、出荷量は27.6万 m^3 で在庫量は9.2万 m^3 、うち構造用合板の在庫は7.5万 m^3 でかなりの低水準である。針葉樹合板は強い引き合いに加え、各メーカー在庫が低水準のため納期にかなり時間を要している。価格も値上がりしている。輸入合板は殆どの品目で強いタイト感が出ており、月を追う毎に厳しくなっている。価格も常に値上がっている。6月の合板輸入量は21.2万 m^3 で中国産、ベトナム産は前月から回復しているが、マレーシア、インドネシア産は減った形と

なった。インドネシアでは原木不足が続いており、日本からの引き合いも強く合板価格は引き続き上昇。マレーシアではロックダウンが継続しており、原木不足と従業員不足での生産だが、引き合いは依然として強く合板価格は上昇。

6. 構造用集成材

7月ラミナ入港量はやや少なかった。第2・四半期交渉で柱用ラミナのオファーが少なく、7月入港も梁用に比べ少ない。1～5月のラミナや原板などの入港量は前年比18.3%減。第3・四半期交渉は€600～€650/m³を主流に上値は€700まで達している。ラミナ輸入コストは9万～10万円/m³(港オントラ)となり、コスト転嫁した販売価格は150,000円/m³以上になる。輸入集成材もラミナ同様に大幅な値上げがあり、€850～€1,150/m³とメーカーにより多少の価格差がある提示になっている。秋以降、流通価格は確実に値上がり、特に柱材のオファー減のため柱の不足感が強まると予想される。年内、集成材の品不足の解消は困難だろう。

7. 木材チップ

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強いが、発生、入荷ともに低調。解体材は例年受入制限を行う地域があるが、今年は総じて少ない。製紙用の国内チップは6～7月の大型定期修理、一部操短状況にあり、配合比率もあり、消費量は増えない状況。燃料用チップは6～7月の大型定期修理で消費量は減少したが、市況は大幅にだぶつく状況にはならなかった。在庫量は例年に比べて少ない状況にある。

8. 市売問屋

スギ、ヒノキ構造材のKD材不足が続いているため、GR材での対応も見られる。外材ではWW、北洋アカマツ製品の不足で受注分の手当に必死だった材木店も少し落ち着いてきた模様。売れ行きの早い製品は全て値上がりしているため、材木店の多くは当用買い状況である。材によって単価は製材所まかせになっている。

9. 小売

オリンピック開催により都心部で物流への影響が心配されたが、大幅な遅延などの問題は出ていない。スギ、ヒノキとも柱角、母屋角、間柱の値上がりが依然として続いている。外材では米ツガ割物、WW間柱の品薄状態が続いている。WW集成管柱は先行き供給不安もあり、まとまった受注は受けていないものの欠品すれすれの状態。北洋アカマツ野縁製品は落ち着いてきた感じがするが、依然価格の高騰と入荷減が続いている。栈木も高騰しており欠品に近い状況。造作材も輸入材の値上げもあり、引き合いは活発である。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和3年8月20日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
北洋材	丸太	→	*	*
	製材品	↘	↘	→
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

注)北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↗	↗	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↗
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↗
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	↗
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	↗
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↗
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↗			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			SPF 2×4 J-Grade R/L	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↗
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
		アカマツ (KD) 16×40上級	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
		ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗